



木曾御嶽山(長野県) 2012.10

御嶽山はvol.6でも取り上げましたが、今秋、4年ぶりに規制解除された記念として再び特集します。

- ▶ 王滝ルートで登りたかったが御岳ロープウェイチケット&送迎付きのプランを見つけ、木曾温泉に前泊することに。
- ▶ 夜8時に到着した木曾福島駅は真っ暗。宿までタクシーで行ったが周囲は山に囲まれ街灯も車通りもなく、全口をさかない運転手さんまで物の怪かと思うほど怖かった。でもあの運ちゃん、あの怖い道を一人で戻るんだよね…。
- ▶ 翌朝、宿の送迎バスで御岳ロープウェイへ。そのまま並んで宿でもらったチケットを渡したら、「あー、これは、引換券なので…」(°_°)(←ありがちな失敗)若干イラッとしながら窓口で本チケットに引き換え、無事に乗車。
- ▶ 登山道中では皆が記念撮影をしたがるポイント(標識や石像など)の前に座って休憩したり携帯いじってる人が多く、イライラしがちだった上、紫外線が目が痛いのか、高山病で頭が痛いのか、若干体調不良に。
- ▶ 山頂はまさかの冠雪で、寒かった。
- ▶ 下りは最終ロープウェイにギリギリとなり、最後の道は観光客で混雑する中、小走りで下山。無事乗車。
- ▶ 帰りの路線バスは予想外の混雑で全員乗り切れず、観光協会の人々が苦勞してセティングしてロープウェイ会社のマイクロバスで途中のバス停まで乗車、そこで待機していた臨時バスに乗り無事木曾福島駅へ辿り着くことが出来ました。



木曾駒っばい



紅葉の中を登る



紅葉と山



山頂から見下ろす



荘厳な雰囲気



空まっしろ

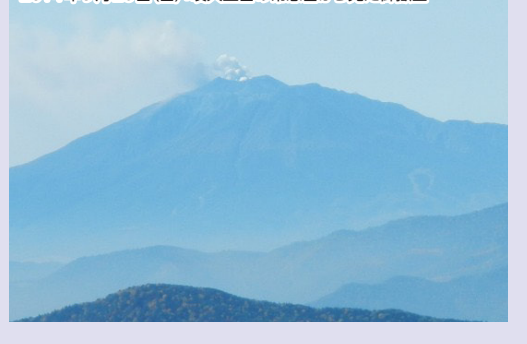


三池



2014年9月27日、私はムーンライト信州を下車、夜明け前の穂高駅からタクシーで一ノ沢へ向かいました。初めて TENT を背負って常念岳に登る計画で、重い荷物を背負ってちゃんと登れるか不安でどうしようもなく、自分を鼓舞するためにわざわざ「常念岳に登ってくるね!」と母にメールしました。最初は小雨が降っていたけど、登るにつれてどんどんガスが消えてゆき、美しい紅葉に目を奪われていると、通りすがりの登山者たちから「御嶽山が噴火したって!」と。ニュースで御嶽山噴火を知った母はたいへん心配し、常念岳と御嶽山がどのくらい離れてるか調べてくれと姉に頼んだり、大騒ぎしたようです。実は御嶽山も王滝から登りたいなあと思山候補に上がっていて、もしテン場があったなら私もあの日、登っていたかもしれません。

2014年9月28日(日):噴火翌日の常念岳から見た御嶽山



新連載
第1回



登山にカネはつきものである。まずは、道具。登山の三種の神器とは靴・ザック・レインウェア。最低限、これが揃ってないと山に登ってはいけない。しかし、最初から数万もする物を買いきろえる奴はいない(←そうでもないが…)。旅行好きだった私は、たくさん歩いてハイキングも出来るようにと、山登りする前から軽登山靴を履いていた。なんと、「私はこれでエベレストに登りました!」というウサン臭いことこの上ない広告を鵜呑みにしたわけではないが、わりと鵜呑みにしつつ、1万という手頃な値段が決め手となった、何故か足が小さく見える、お気に入りの登山靴であった。10年ぐらい履いた気がするが、晩年(靴の)はずでに山登りに突入して、ソールが真っ平らに磨り減って滑ってしりもちついて買い換えを決意した。ザックはとりあえず、4,000円ぐらいの安物を買ったが、ポケットに物を入れてたらすぐに穴が開いてしまった。レインウェアは上下で1万円のものを未だに使ってるが、パンツはアイゼンで破ってしまった。(続く)

ここまでの合計→登山靴9,800円+ザック3,980円+レインウェア9,800円=23,580円(消費税抜きのうる覚え価格)

今月の

妄想登山

実現率:25%

日本三大急登を登れ…る?

俗に日本三大急登と言われる西黒尾根、黒戸尾根、ブナ立尾根…。



今の私なら西黒尾根と黒戸尾根ぐらいは登れんじゃねーかな、と勝手に思っている私ですが、諸事情により今年はおうちチャレンジ出来ないの、ホッと…いえ、残念さわりないですが、それなら来年、いや来年以降に、挑戦してみるつもりであるかもしれない今日この頃ですが、西黒&黒戸のブラックコンビは、なんと“日本三大急登”の一つらしい。それなら、もう一つのブナ立尾根も、登ってみたいらどうだろう? なぁに、急登だけで、別に難しくはないよ!(←ほんととか?) 待てよ、それなら、北アルプス三大急登もイケんじゃね? 何しろその一つの合戦尾根はすでに登っているし、ブナ立尾根は日本三大とカブっている。残るは早月尾根だけだ。別山尾根より鎖場がエグくないという説もある早月ルート、もしかして剣岳にも登れちゃうかも? ヘタレ妄想は尽きない。

毎日あるペン号で谷川岳ロープウェイ 5:00着 / 15:30発
行き7,000円 / 帰り5,500円

0.6km 西黒尾根 登山口 800m

3.7km(4時間10分) 西黒尾根 日本三大急登!!! 鎖場もあるよ!!!

0.4km ① 谷川岳 オキの耳 1,977m

5km(3時間10分) 天神尾根→田尻尾根 白鷺滝 谷川岳 ロープウェイ 733m

下りは安全ルートで!!! ぐりしないのがコツさ!!!

電車とタクシー等で尾白川渓谷へ
新宿～小淵沢JR得た値3,830円
尾白川渓谷までタクシー約4,000円

6.5km(6時間40分) 黒戸尾根 ハシゴ・鎖の連続 楽しそう?!

1.5km(2時間30分) ② 七丈小屋 2,364m

3.6km(2時間50分) 甲斐駒ヶ岳 2,964m 摩利支天も登ろう!!!

2.8km(3時間10分) ③ 仙水小屋 2,136m

4.4km(3時間5分) アサヨ峰 2,792m ついでに未踏のアサヨ峰も登ろう!!!

北沢峠 2,036m

高速バスとタクシーで高瀬ダムへ
新宿～信濃大町 高速バス4,200円
高瀬ダムまでタクシー約8,400円

4.2km(5時間20分) ブナ立尾根 なんかマジで急登な感じ!!!

① 高瀬ダム 1,272m?

② 烏帽子小屋 2,578m

8.8km(7時間40分) 烏帽子岳 2,622m アップダウン多いが大丈夫か??!

③ 船窪小屋 2,459m

3.9km(4時間) 船窪新道・七倉尾根 よく知らんけど大丈夫かな?

七倉ダム 1,064m

電車とタクシーで馬場島登山口へ
富山まで新幹線得た値11,630円
電鉄富山～上杉600円
馬場島までタクシー約6,000円

5km(5時間40分) 早月尾根 別に難しくはないよね…?

① 馬場島荘 735m

② 早月小屋 2,215m

4.4km(6時間) 剣岳 2,941m もしかして登れるかも…ムリ?

③ 早月小屋 2,215m

5km(5時間40分) 早月尾根 下るの絶対ヤダと思う。しかし下らないと帰れないし…

馬場島荘 735m

いもねえひやくめいざん④ 双六岳

記録ID: 725096

長野県大町市と岐阜県高山市にまたがる飛騨山脈の裏銀座の主稜線に位置する標高2,860mの山。神通川水系最上流部の双六谷にすごろくの碁盤に似た碁の石があることが、山名の由来であるとする説や、「四五六谷」が転化して双六谷になったとする説もある(Wikipediaより)
登山レベル: 新穂高～小池新道は難所もなく頑張って歩けばそのうち着きます。
展望: 槍穂の絶景の展望地。私が登った時は曇り隠れていたが…。
トイレ: 横沢岳との鞍部にある双六小屋が一番近いです。山頂まで1時間強。



どっかで写真を見て一目惚れした双六岳。ヘタレな私でも何とか登れそうな優しい山容で、アルプス縦走に目覚めた私が最初に目指した山です。やっぱ、名前がいいよね(^_^) ああ、草のかたまり? が点在してるような、特徴的な山頂付近は、すぐお気に入り(語彙力の低さをご容赦ください)。しかし双六小屋では3回テントを張ってるというのに、双六岳には1回しか登ってないという私。こんなんで、双六岳好きを名乗っていいのだろうか? ま、カタいこと言うなよ(^_^)!

週刊実話 第11回 大菩薩峠



行き止まり? 何これ、うそ? やっぱ道が間違ってたんだ、ここは登山道じゃなかったんだ! 頭が真っ白になるとはまさにこのことである。違うとわかっていながら、私はビニールテープの巻かれた木々の間をすり抜け、先に進んでみるが、土は柔らかく木は無造作に生い茂り、どう考えても道ではない。私の両足は震えてガクガクだった。遭難した! とうとうやっちゃった! 道がわからなくなったら、どうするか? 答えは、わかる道まで戻ること。さっきの丸川荘まで戻れば、とりあえず何かかな。だが、この疲れた足で、あの急斜面(私にとっては)を登り返すことができるのか? 今何時だ? もうすぐ暗くなる。日没に間に合うだろうか? 明日は会社に行けるのか? もう完全にパニック状態である。左手に見える崖の山小屋に向かって、「助けてくださいー!」と叫んでみようか? あるいは、工事っぽい音がするから、工事の人に聞こえるかもしれない。私は本当に、もう少しで叫ぶところだった。とにかく、例の4人パーティと合流して相談しようと思ひ、私は、よろけて転びそうなほど大きく震えている足で、来た道を再び登り始めた(続く)



今月のQuiz
この看板はどこ(山・山域等)にあるでしょう?

*先月号の答えも先月号と同じ大滝山荘でした。誰かもって答えてー(TDT)

編集長から一言

今年もトランスジャパンアルプスレースをNHKで観た。私も登った立山や西嶽尾根、池山尾根などがテレビに映ると楽しくて仕方が無い。そうだよな、辛いよね。でも登りたいかと思うよね。などと、私の登山とは月とスッポンの違いがあるのに図々しくも共感するimoneeであった。また、別の番組では、登山家の花谷さんが登場。私は失礼ながら存じ上げていなかったが、ピオレドール賞も受賞している、なかなかすごい人らしい。そんな彼が、登ってる時はいつもヤダとか、早く帰りたいと思ってるとか笑って話してたのが印象的であった。そう、そうなんだよね! 私も雲取山に登る時、すんげーイヤで鴨沢のトイレで下痢したし(←何の話?) こんなにイヤなのに何故登るのか? 面白すぎる、人間て。などと、月とスッポンどころか月と砂粒ぐらいの登山レベルの差があるグセに、図々しくも共感できてるつもりでのimoneeであった。

